

受験申込みに必要な書類等一覧

必要書類等	内 容 等
1 受験申込書 (コピー不可)	<p>ア 黒のボールペンを用い、楷書でていねいに記入すること。 ※フリクションインクを使用した文字を消せるボールペンは使用しないでください。</p> <p>イ 申込者の認印を忘れずに押印すること。</p> <p>ウ 受験申込書のなかの※以外はすべて受験者が記入すること。</p>
2 受験手数料及び 試験問題作成手数料	<p>ア 受験手数料及び試験問題作成手数料は、郵便払込による8,050円とし、受験申込書裏面に「郵便振替払込受付証明書」を貼付すること。</p> <p>イ 資格要件を満たさない場合等、受験申込書を受理できない場合を除き、既納の受験料等は返還しない。 (返還する場合は、返還に要する費用を差し引いた金額を返還する)</p>
3 写真1枚	<p>申込日前6ヵ月以内に撮影した上半身、脱帽、正面向き、無背景(縦4cm、横3cm)のものを受験申込書に1枚貼付して提出すること。</p> <p>なお、写真の裏側には、必ず氏名を記入し、しっかり貼りつけること。</p>
4 実務経験証明書 ※受験申込者全員提出	<p>実務経験証明書に記載されている注意事項に留意すること。</p> <p>特に職種(業務)欄については別表1・2のコード表を参照し記入する。 また、施設(事業)等種別欄は施設・事業所の名称を記載しないよう留意すること。</p>
(証明者と本人が同一の場合)	<p>証明権者と本人が同一の場合については、証明権者が発行した在職証明書及び実務経験証明書と併せて、開業許可書、認可書、届出書、業務委託契約書等の客観的に証明できる書類の写しを提出すること。 なお、許可、認可、届出制がなく、これらの証明書類を提出できない場合は、定期的報告書(月次、年次)や業務日誌も証明書類と認める。</p>
5 在職証明	<p>受験地要件を確認するため別表1・2(P.11~12)の業務に現在従事している方は全員実務経験証明書(P.31~34)に現在の業務等、必要事項を記入し提出すること。</p>
6 資格等を証明する書類	<p>受験資格(P.4)のアの者は、資格を証明する書類を添付すること。</p>
受験資格(P.4)のア国家資格者等	<p>免許(資格免許証、資格登録証)等の写し(免許等のウラ面に日付等記載されている場合は、ウラ面もコピーすること) ※写し(コピー)は、感熱紙のものは全て不可とします。</p>
7 住民票抄本	<p>受験資格を有しているが、現在実務経験対象となる業務(別表1・2のP.11~12)に従事していない者は、平成30年5月28日以降発行の住民票抄本を添付すること。</p>
8 戸籍抄本 (個人事項証明書)	<p>各証明書(実務経験証明書、資格等の証明書等)の姓名と現在の姓名が婚姻等により異なる者は、変更部分が確認可能な平成30年5月28日以降発行の戸籍抄本(個人事項証明書)を添付すること。</p>